

議事録

会議の名称	第2回別府市協働のまちづくり推進委員会
開催日時	令和4年5月20日（金） 13:30～15:15
開催場所	別府市役所 5階 大会議室
出席者	委員：清水委員、後藤委員、福谷委員、中山委員、平石委員、上里委員、 入田委員、日名子委員（※平岡委員、河原委員 欠席） 事務局：山内室長、岡崎補佐、首藤主査

≪会議の内容≫

■議題（1） 令和3年度協働推進事業の実施状況

別府市協働のまちづくり推進条例第10条に基づき、協働のまちづくりの推進に関する施策の令和3年度実施状況を事務局から委員会へ報告。

委員からの意見等は下記のとおり。

①啓発活動及び人材育成の推進

- ・職員が地域活動へ参加するきっかけとなる「しかけ」を、地域が作ることも必要。
- ・庁内で多様な市民のニーズを集約し、職員間で共有することが、問題意識を持ち、協働の意識を高めるきっかけとなるのではないかと感じる。

②市民と市の相互理解の推進

- ・まだデジタルに抵抗のある層も多いため、しっかりサポートしなければいけない。
- ・コロナ禍で地域行事の再開を不安に思う住民も多く、アフターコロナを見据え、機運を高める働きかけが必要である。
- ・例えば情報を提供する媒体としてはホームページの活用だけではなく、対面などアナログな部分を残すなど、デジタルとリアルは共存していくしかないと感じる。

③体制づくりと支援策の推進

- ・他団体が実施した良い試みや成功事例を共有、PRして広げていくことが重要である。
- ・地域が抱える課題の解決につなげていくため、各種団体のあり方等、各課との連携を図ってほしい。

④環境整備

- ・補助金制度においては、本来の補助金の趣旨と齟齬が生じない事業に対して交付するよう留意しなければいけない。
- ・ひとまもり・まちまもり協議会は、それぞれの取組を知ることでその活動の幅が広がると思う。

⑤取組の評価や見直しの推進

※次回委員会で報告

▶次回委員会で施策⑤を報告し、委員会の評価結果へつなげていく

■議題（２） 人材育成について

今後の委員会において、協働に関わる主体を「行政」「市民（地域団体）」「市民（NPO法人、企業等）」の3つに分類し、それぞれの人材育成について意見交換をしながら、人づくりや交流の取組を進めていきたい旨を提案。

委員からの意見等は下記のとおり。

- ・市民に目的意識をもってもらうにはどうしたらよいか。
- ・違う立場の者同士が、具体的に何ができるかを協議する機会（場）が必要である。
- ・特に若い世代は時代とともに考え方も変わってきているため、施策を考える前に、どのような「人」がいるのか「知る」ことから始めるのがよいと思う。
- ・企業等で地域の役に立つ人材を育てる仕掛けを見いだす。
- ・情報だけに頼りがちな若い世代とは、コミュニケーションを取る場づくりが必要であり、達成感を積み重ねる体験をしてもらいたい。まちは、地域で活動している様々な人たちで成り立っていることを学んでほしい。
- ・企業に向けた地域づくりの研修を実施して、地域とのつながりや地域づくりへの関心を引き出してはどうか。

▶次回委員会においても、意見交換を予定

■議題（３） ひとまもり・まちまもり協議会の取組について

本市が提出した地域再生計画「持続可能な地域を目指す中規模多機能自治形成事業～新たな自治のかたち～」が国の認定を受けたことに伴い、①地域の担い手育成事業、②ひとまもり・まちまもり事業について、本委員会での検証を依頼。

委員からの意見等は下記のとおり。

- ・市と連携し、中学生や高校生を巻き込みながら、デジタル推進に向けた取組を進めていく予定である。

▶今後の委員会において、ひとまもり・まちまもり協議会の取組を随時報告

委員会終了。